

第2期健康横浜21（素案）に関するパブリックコメントの実施結果

横浜市では、市町村健康増進計画である「健康横浜21」の第2期計画の策定にあたり、パブリックコメントを実施しました。

市民の皆様からの、貴重なご意見・ご提案に感謝いたします。

このたび、実施結果と市の考え方をまとめましたので、公表いたします。

1 実施概要

(1) 意見募集期間

平成24年10月1日（月）～平成24年10月31日（水）

(2) 意見募集の周知

ア 素案冊子の配布（3,400部）

〈配布先〉

区役所（区政推進課、福祉保健課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課）

行政サービスコーナー（13か所）、市民局市民情報センター、健康福祉局保健事業課

イ 横浜市ホームページ

ウ 広報よこはま10月号

(3) 意見提出方法

郵送、ファックス、電子メール

2 意見募集結果

(1) 意見提出状況

提出方法	応募数（意見数）
郵送	51人（150件）
ファックス	4人（16件）
電子メール	11人（52件）
合計	66人（218件）

(2) 項目別意見数

項目	意見数
① 基本目標を「健康寿命」とすることについて	57件
② 今後実施してほしいライフステージ別の取組内容について	73件
③ その他	88件
合計	218件

(3) 提出された意見への対応状況

項目	意見数
① 素案にご賛同いただいたもの	59件
② ご意見を反映し素案を修正するもの	5件
③ 取組の際の参考とするもの	102件
④ その他	52件
合計	218件

3 主な意見の内容とそれに対する考え方

① 基本目標を「健康寿命」とすることについて（57件）

主な意見の内容		意見に対する考え方
ア	とても良い。健康寿命が延びることが本当の長寿社会の姿だと思う等、賛同の意見 44件	健康寿命を延ばすため、市民の健康づくり施策のさらなる充実を図ります。
イ	「自立」や「日常生活が制限されない」という言葉が漠然としている等、表現に関する意見 13件	健康寿命の考え方や目標について、分かりやすく説明していきます。

② 今後実施してほしいライフステージ別の取組内容について（73件）

主な意見の内容		意見に対する考え方
ア	高齢者に対しては、自治会館などの身近な場所での健康相談が重要。子どもの時に身についた習慣は生涯変わらない。小学校での食育、禁煙、運動の教育が大切等、生活習慣改善の取組に対する意見 47件	いただいたご意見を、取組の際の参考にさせていただきます。
イ	働いている人への健診受診啓発が重要。時間と場所を工夫し、健診を気軽に受けられる機会を作してほしい等、生活習慣病の重症化予防の取組に関する意見 10件	いただいたご意見を、取組の際の参考にさせていただきます。
ウ	健康に関心のない人も参加できる工夫等、ライフステージ全般にわたるその他の意見 16件	いただいたご意見を、取組の際の参考にさせていただきます。

③ その他（88件）

主な意見の内容		意見に対する考え方
ア	目標の項目が多すぎる等、行動目標と指標に関する意見 19件	行動目標については、ライフステージの分野ごとに重要な項目を選んでいきます。目標の項目については、わかりやすい説明の工夫をしていきます。
イ	取組はよいが、どう市民に伝えていくかが問題である。市民への広報を機会あるごとに積極的にする必要があり等、広報や知識の普及に関する意見 9件	より多くの市民の皆さまに情報提供するために、工夫をしていきます。
ウ	精神的な安定や人とのつながりなども重要で、生活習慣改善の分野にこころの健康も位置づける必要がある等、こころの健康に関する意見 6件	こころの健康を保つためには休養も重要な要素であると考えます。本計画での「休養」の中で反映していきます。
エ	10年間の計画なので、時代にあった活動を進めてほしい等、その他の意見 54件	市民の皆さまが健康行動をとりやすい取組の工夫をしていきます。

いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方 詳細

1 基本目標を「健康寿命」とすることについて 57件

(ア)とても良い。健康寿命が延びることが本当の長寿社会の姿だと思う等、賛同の意見(44件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
1 ~ 44	<p>賛成 よいと思う、等の賛同意見(44件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進計画の理念からは健康寿命が基本目標であるべき。 ・健康寿命が延びることが本当の長寿社会の姿と思う。 ・高齢化社会にあってたいへん適切。 ・健康づくりは健康寿命を延ばすこと。 ・素案はよくできている。計画で終わらず活動を進めることが大切。 ・基本目標とすることは適切と思う。 ・健康で日常生活が無理なく過ごせる期間を保てることは非常に大切。 ・計画に基づいて一人ひとりが意識を高めていきたい。誰もが思いは同じ。 ・乳幼児期から取り組むことで健康寿命が延びると思う。 ・一生を元気で送れることは理想。これを目指し、実現に近づけたら素晴らしい。 ・高齢化社会を迎え、大変望む。 等 	賛同	健康寿命を延ばすため、市民の健康づくり施策のさらなる充実を図ります。

(イ)「自立」や「日常生活が制限されない」という言葉が漠然としている等、表現に関する意見(13件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
45	健康と非健康の境界がよくわからない。自立といってもどこまでが自立か。	参考	第2章2(1)「横浜市民の平均寿命と健康寿命」に健康(日常生活に制限がない)の定義について記載しています。
46	「日常生活が制限されない」ということがいまひとつ漠然としている。	参考	第2章2(1)「横浜市民の平均寿命と健康寿命」に健康(日常生活に制限がない)の定義について記載しています。
47	具体的な目標としては、どのように評価するのかわかりにくい。	参考	健康寿命を延ばし、健康寿命を平均寿命に近づけることができたかどうかで、基本目標の評価を行います。
48	第1期計画の効果・反省点・改善点がよくわからない。これをはっきりさせてほしい。改善点が第2期計画ではないか。	参考	第2章4「第1期計画でのこれまでの取組からみた課題」に記載しています。
49	健康寿命という言葉の意味を知らないとわかりにくい。	参考	第2章2(1)「横浜市民の平均寿命と健康寿命」に健康寿命の算出方法と健康(日常生活に制限がない)の定義について記載しています。健康寿命の普及・啓発も取組の中で行っていきます。
50	優等生がたたえた目標でだれも批判できない。目標はきれいだが実施方法がわからない。もっと実行できる計画を提示してほしい。	参考	第3章3「取組に対する考え方」及び4・5・6(3)「取組内容」に、実際の取組の方向性について記載しています。その方向性に基づき、具体的取組例に示した取組を行っていきます。
51	健康寿命と平均寿命の適正な年齢差は誰がどう判定するのか。	参考	平均寿命及び健康寿命は、「厚生労働省科学研究班『健康寿命算定プログラム』」を用いて、横浜市で算出します。健康寿命を平均寿命に近づけ、その差をできる限り少なくすることが、重要と考えます。
52	「85歳を元気で迎えよう！」のほうがよいのではないか。	その他	基本理念にあるように、「いくつになってもできるだけ自立した生活を送ることができること」が重要と考えます。国の健康日本21で「健康寿命」という表現が使用されており、第2期計画でも同様に使用しています。
53	寿命という言葉は「管理不可」や「尽きる」というイメージもあるので「健康長寿期」「健康活動期」などにしてはどうか。	その他	国の健康日本21で「健康寿命」という表現が使用されており、第2期計画でも同様に使用しています。
54	漠然としすぎている印象。年代別、ひとくりにできないものを「10年後に〇〇」は違和感がある。	その他	平均寿命と健康寿命はそれぞれの年代の状況が反映される総合的な指標です。具体的な数値は、保健分野の統計指標として設定することが困難なため、第1章4「基本理念・基本目標」に平均寿命と健康寿命の延びを確認しながら、総合的に評価することを記載しています。
55	横浜らしさが無い。国の目標をなぞっているだけ。横浜らしい健康とは何かを数値を含め明確にしてほしい。	その他	横浜市の中期4か年計画では「100万人の健康づくり戦略」として「誰もがいつまでもいきいきと活躍できる健康長寿日本一の都市」を目指しており、第2期計画の基本目標もこれを踏まえて設定したものです。具体的な数値は、保健分野の統計指標として設定することが困難なため、第1章4「基本理念・基本目標」に平均寿命と健康寿命の延びを確認しながら、総合的に評価することを記載しています。

No.	ご意見	対応	考え方・回答
56	「延ばす」だけでは言い訳をつくる計画に過ぎない。目標数値を明確にしてほしい。	その他	平均寿命と健康寿命はそれぞれの年代の状況が反映される総合的な指標です。具体的な数値は、保健分野の統計指標として設定することが困難なため、第1章4「基本理念・基本目標」に平均寿命と健康寿命の延びを確認しながら、総合的に評価することを記載しています。
57	健康を損ねた人の健康回復を副目標として取り上げ、目標値も設けるべき。	その他	健康回復に必要な医療やリハビリの充実については、「よこはま保健医療プラン」で取り組んでいます。本計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「よこはま保健医療プラン」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。

2 今後実施してほしいライフステージ別の取組について 73件

(ア)高齢者に対しては、自治会館などの身近な場所での健康相談が重要。子どもの時に身についた習慣は生涯変わらない。小学校での食育、禁煙、運動の教育が大切等、生活習慣改善の取組に対する意見(47件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
1	働き・子育て世代で「禁煙にチャレンジ」は積極的に取り組んでほしい。	賛同	目標の達成に向け、計画を推進していきます。
2	素案どおりでよい。	賛同	目標の達成に向け、計画を推進していきます。
3	分野ごとにわかりやすく目標値が示されているので取り組みやすい。	賛同	目標の達成に向け、計画を推進していきます。
4	喫煙してしまった未成年への禁煙支援・治療を施策としてほしい。子どもの喫煙は社会的責任もあるので保健治療が受けられる施策を。懲戒から治療へパラダイムシフトが必要。	参考	行動目標は指標が確実に取れる受動喫煙に着目して設定しましたが、喫煙防止や場合によっては禁煙支援も必要と考えています。
5	すでに喫煙をしている未成年への支援プログラムを導入すべきだ。学校と連携して行い、参加は親の義務とする。	参考	行動目標は指標が確実に取れる受動喫煙に着目して設定しましたが、喫煙防止や場合によっては禁煙支援も必要と考えています。
6	少子化の現在、子どもを健康に育てることは大切なので食育をベースに活動を望む。	参考	学校や地域での食育は重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
7	子どものときに身についた習慣は生涯変わらない。小学校での食育、禁煙、運動の教育が大切だと思う。	参考	小学校も含めた学校での取組が重要と考えています。
8	育ち・学び世代は、学校だけでなく青少年活動に従事している人も活用する。	参考	子どもに身近な地域住民が主体となった取組への支援については重要と考えています。
9	虫歯や歯周病が生活習慣病だということを小・中学校でも教えるべき。「しっかり噛んで食後は歯磨き」はみんな知っている。	参考	児童・生徒への正しい歯磨き習慣の形成及びむし歯・歯周病の予防指導が重要と考えています。
10	育ち・学び世代で休み時間にラジオ体操など、運動の習慣をつける。	参考	学校等で子どもが運動する機会づくりが重要と考えています。
11	生活が激変する成人期前半が非常に重要だ。	参考	働き・子育て世代の生活の積み重ねが生活習慣病に与える影響は大きく、取組は重要と考えています。
12	成人期は、小学校を開催場所として母親に対する食育活動。	参考	身近な場所での知識の普及啓発が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
13	健康にはまず口の健康。働き盛りこそ口の健康を意識する必要がある。	参考	すべてのライフステージを通じて、口腔の健康及び口腔機能の維持・向上を図ることが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
14	8020運動は成人期から取り組むべきで、高齢期と共通目標ではないか。	参考	8020を総りの世代の指標にしているのは、国が「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」で8020を高齢期の目標としていること、及び8020達成者の割合に着目していることからです。しかし、8020の達成には、乳幼児期から生涯にわたっての取組が重要であると認識しています。
15	働き盛りの運動不足対策に、職場に休み時間のための運動器具があるとよい。	参考	事業所等職場での健康づくり支援が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
16	働き・子育て世代は、駅近くの保育所・スポーツ施設の利用促進サポートを強化。	参考	健康づくりに参加できる機会の充実が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。

No.	ご意見	対応	考え方・回答
17	高齢化が進んでいるので自治会館などの身近な場所での健康相談があると助かる。今後必要。	参考	身近な場所での健康相談が重要と考えています。
18	稔り世代は一人暮らしの人を早期に発見して支援する地域ぐるみの体制を整える。	参考	世帯構造の変化に合わせて、健康づくり支援を行うことが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
19	稔りの世代は、介護サポートボランティア、趣味の会の拡充、仲間づくり支援、子育てに力を貸してもらうなど。	参考	地域の健康づくりグループでの活動など、社会活動に参加することを通じて健康づくりを行うことも重要と考えています。
20	高齢者層への食生活改善(低栄養予防、減塩、メタボ・肥満予防、免疫力補強、油脂類の適正な使い方、朝食、野菜、魚介類の摂取)。	参考	高齢期の適切な栄養摂取は生活習慣病の予防や重症化予防だけでなく、身体機能を維持し、生活機能の自立を図る上でも重要と考えています。
21	高齢期は口腔の大切さをもっとアピール。	参考	すべてのライフステージを通じて、口腔の健康及び口腔機能の維持・向上を図ることが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
22	健康な高齢者への健康維持の支援。スポーツクラブ入会促進、経済的支援など。	参考	自分の健康状態にあった健康づくりを無理なく行うことが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
23	介護予防体操を生活の中に。	参考	運動器の障害のために自立度が低下し、介護が必要となる危険性が高い状態であるロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防が重要と考えています。
24	高齢期を前期と後期にわけ、前期は地区ボランティア活動に参加するよう施策。	参考	地域の健康づくりグループでの活動など、社会活動に参加することを通じて健康づくりを行うことも重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
25	高齢期の生活習慣のあるべき姿は頭にあるが、実施・継続させるための取組に焦点を当ててほしい。	参考	健康行動が持続でき、成果が見えるしくみづくりが重要と考えています。
26	たとえ健康であっても、定年後の高齢者が目標もなく過ごしていることはたとえ健康でも残念。生きがいさがしが必要。	参考	健康であることは自分らしくいきいきと暮らし、積極的に人生を歩むための要素の一つであると考えます。ご意見を参考とさせていただきます。
27	乳幼児期、青年期の取組が特に重要。	参考	生活習慣病になりにくいからだづくりを行うためには、乳幼児期からの健康づくりが重要と考えています。
28	無関心な人をいかに病気にならないう指導するかを立案指導してほしい。	参考	健康に関心のない人も参加できる新たなしくみづくりが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
29	イベントやグループ活動など集団行動になじまない人が特に男性で多い。個人で行動することを好む人でも入手しやすく接触しやすい情報や機会を増やすと効果が上がるのではないかな。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えています。
30	個人でも入手できる情報・機会を設定するだけでなくシリーズものにして繰り返し参加することで完結する形式が良い。継続することでポイントがたまる方式はどうか。	参考	健康行動が持続でき、成果が見えるしくみづくりが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
31	食生活)若者こどもは好き嫌いがある 歯)昔より実行している人が増えた タバコ)まだまだ 運動)健康のために歩こうという人が増えている 休養)若者は睡眠がとれていない 定期健診)なるべく多くの人にいてほしい。	参考	地域や対象となるライフステージの特徴を総合的に捉え、効果的に取組を進めることが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
32	今日食べたものが明日のからだを作る。	参考	適切な量と質の食事は生活習慣病予防の基本の一つであると考えます。
33	食堂や飲食店、弁当販売店、スーパーの惣菜売り場などでのカロリーや塩分量の表示。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えています。
34	妊婦から高齢者まで年代にそったバランスのよい食事と運動を心がける場、機会をもっと作ってほしい。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりや参加できる機会の充実が重要と考えています。
35	硬いものをよく噛んで1口入れたら30回口を動かす。	参考	乳幼児期、学齢期によく噛む習慣をつけることが、生涯にわたる健康の保持増進につながると考え、育ち・学びの世代の行動目標をも「しっかり噛んで食後は歯磨き」としています。ご意見を参考とさせていただきます。
36	口腔に関する知識を得る機会が少ないのもっとアピールしてほしい。口腔の健康は重要だ。	参考	すべてのライフステージを通じて、口腔の健康及び口腔機能の維持・向上を図ることが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
37	禁煙に関する取組をいっそう強化すべきと思う。	参考	喫煙率の低下は喫煙による健康被害を確実に減少させる最善の方策であることから、その取組が重要と考えています。
38	受動喫煙防止が施設管理者の努力義務になっていることが徹底されない理由だと思うので、罰則も含めた対策を県と協力して行ってほしい。	参考	受動喫煙を受けない環境づくりが重要であり、医療機関や行政機関などの公的施設に加え、生活の場である家庭も含めた対策が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。

No.	ご意見	対応	考え方・回答
39	飲食店の受動喫煙を目標値まで下げる具体策を示してほしい。	参考	飲食店等での健康づくりの取組支援が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
40	はまちゃん体操、ウォーキング等で結果を出すことが大事だと思う。食べること、運動、睡眠をバランスよく学ぶことで元気で長生きのデータを示す。	参考	ウォーキングイベントの実施や、さまざまな活動グループでの健康づくり支援が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
41	運動分野のウォーキングは大体定着したので他の分野もイベント・講座など継続すべき。正しい情報をもっと提供すべき。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりや、健康づくりに参加できる機会の充実が重要と考えています。
42	ハマちゃん体操に参加しているが、月1回では少ないので週1回くらいやってほしい。	参考	健康づくりに参加できる機会の充実が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
43	地域の公園でエアロビクス。やりたい人が自由に集まって楽しむ。	参考	健康づくりに参加できる機会の充実が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
44	喫煙の部分にたばこの吸殻投げ捨て等に取り組んでほしい。	その他	たばこの吸い殻を含め、ごみのポイ捨て対策については、「横浜市空き缶及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例」で取り組んでおります。
45	喫煙迷惑条例が必要ではないか。	その他	屋内の公共的空間における受動喫煙対策については「神奈川県受動喫煙防止条例」に基づき、横浜市でも取り組んでおり、今後も普及・啓発に努めます。
46	睡眠は4～7時間で十分。	その他	睡眠時間については、個人差があり、主観的な指標である「十分睡眠をとれている者の割合」の割合の増加をめざします。
47	医師の勧めで社交ダンス教室に参加し病状もよくなっていたが、スポーツセンターの受講料値上げ、冷暖房なしなど苦情がある状態。健康保険の一部を高齢者の利用環境・交通利便向上にあてる対策を強く希望する。	その他	健康保険料の運用については、各保険者が行っているため、第2期計画での取組は困難です。

(イ)働いている人への健診受診啓発が重要。時間と場所を工夫し、健診を気軽に受けられる機会を作ってほしい等、生活習慣病の重症化予防の取組に関する意見(10件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
48	高齢期の取組目標にも「がん検診、特定健診受診率向上に向けた啓発」をいれるべき。	賛同	第3章2「行動目標の設定」にあるように、稔りの世代においても、がん検診、特定健診受診率向上に向けた取組を行っていきます。
49	成人期・高齢期の取組目標に「がん検診・特定健診時に生活習慣病の予防と緊急時の対応に関する知識と助言を提供する」を加える。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
50	健診の受診率の低さと健康づくりの関心の低さが影響しているのではないかと。1年に1度の定期健診の推進を考えてほしい。	参考	がん検診、特定健診の受診率向上に向けた啓発が重要と考えています。
51	働き・子育て世代は、中小企業で働いている人への啓発。健康相談の時間と場所を工夫する必要がある。例えば病院にいかなくても安価でヘモグロビンA1cの検査ができるなど。	参考	自分の健康状態を知る機会づくりとして、身近な場所での健康チェックが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
52	働き盛りの成人期に気軽に健診を受けられるシステムづくり。	参考	自分の健康状態を知る機会づくりとして、身近な場所での健康チェックについて重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
53	血液検査だけ手軽に受けられる機会を作ってほしい。献血ルームとか。予約不要、診断不要、1000円程度で。	その他	健康をチェックできる機会として既に制度がある「特定健診」について、行動目標にも掲げ、取り組んでいきます。
54	特定健診・保健指導の成果を情報提供。	その他	「特定健診・保健指導」については、各保険者が行っており、横浜市国民健康保険加入者に対しては、「横浜市特定健康診査等実施計画」の中で取り組んでいます。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「横浜市国民健康保険特定健診等実施計画」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。
55	PSA、大腸検査・検便、眼底などの検査をもっと安価に受けられるようにする。	その他	PSAなどの検査に係る費用については、第2期計画の取組の範囲には含まないため、具体的な取組は困難です。
56	特定健診は75歳以上を除いているが、75歳以上の市民も健診が受けられるようにしてほしい。	その他	75歳以上の市民については、後期高齢者医療制度の中での健診を実施しております。

No.	ご意見	対応	考え方・回答
57	高齢期は、定期健診を促すはがきなどの郵送。	その他	定期健診のうち、40歳から74歳の横浜市国民健康保険加入者を対象とした特定健診については、「横浜市国民健康保険特定健診等実施計画」に基づき、対象者には受診券および制度のご案内の発送をおこなっています。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「横浜市国民健康保険特定健診等実施計画」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。

(ウ)健康に関心のない人も参加できる工夫など、ライフステージ全般にわたるその他の意見(16件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
58	60歳を過ぎたら加齢黄斑変性が要チェック。	参考	疾病等の自分の健康状態にあった健康づくりを行うことが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
59	乳幼児期～青年期は母子健康手帳など管理手帳の活用。	参考	養育者や保護者を通じた子どもの健康づくり支援が重要と考えています。
60	とりあえずできることから取り組んでいけたら良い。	参考	地域や対象となるライフステージの特性を総合的に捉え、重点的に取り組む行動目標を設定すること等、効果的な取組が重要と考えています。
61	自分から行動を起こさない人のために町内のような小さな組織からはじめるとよい。	参考	健康づくりに参加できる機会の充実が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
62	高齢者が高い健康食品などを買わされることが多いので、その啓発が必要。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
63	高齢になっても情報を取り入れて正しい知識を持つように心がけるような取組。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えています。
64	健康に関心のない人も参加できる新しいしくみづくり。	参考	健康づくりに関心が低く、時間的ゆとりのない層への働きかけが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
65	中高年世代への取組。	参考	働き・子育て世代の生活の積み重ねが生活習慣病に与える影響は大きく、取組は重要と考えています。
66	色々な取組があっても積極的に参加できない人が多いのでその解決を望む。	参考	時間的ゆとりのない層への働きかけが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
67	一人ひとりがもう少し関心を持ってほしい。	参考	健康づくりに関心が低く、時間的ゆとりのない層への働きかけが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
68	自治会ごと地域ごとの「健康自慢」などのイベント開催。グループ発表などで情報交換できるし励みになるのではないか。	参考	さまざまな活動グループでの健康づくり支援が重要と考えます。
69	すべてのライフステージに住環境の整備を盛り込むべき。	その他	住環境整備については、第2期計画の取組の範囲には含まないため、具体的な取組は困難です。
70	往診・見取りをしてくれる個人病院を増やす。	その他	医療の充実については、「よこはま保健医療プラン」で取り組んでいます。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「よこはま保健医療プラン」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。
71	いにしへの住環境の吉相住宅を立地する条例も必要。	その他	住環境整備については、第2期計画の取組の範囲には含まないため、具体的な取組は困難です。
72	各ステージを通じて生活レベルの向上が基本。現代は低下する一方で、維持・改善する政策が第一だ。	その他	第1章6(3)「区の特性を踏まえたさまざまな関係機関・団体と連携した取組」に、区の特性(人口構造や世帯構造、平均寿命や平均自立期間、疾病状況、社会資源)に応じた取組を進めるとしており、地域の特性に合わせた事業の工夫を行います。
73	人生の終末期に入ったときの心の持ち方、医療への付き合い方も大切なことを提示してほしい。	その他	医療の充実については、「よこはま保健医療プラン」で取り組んでいます。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「よこはま保健医療プラン」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。

3 その他 88件

(ア) 目標の項目が多すぎる等、行動目標と指標に関する意見(19件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
1	全国目標値の他に横浜市の目標値を設定してほしい。	賛同	行動目標及び指標を設定しており、目標の達成を目指して取り組んでいきます。
2	特定健診の受診率は実態を反映していない(低すぎる)。実態を把握できないなら廃止すべき。自分は毎年人間ドックに行くので受けていない。	参考	特定健診に限定しない健診受診状況については第2章3(3)「健康診断の受診状況」に「国民生活基礎調査」の横浜市分を集計した、健診受診状況を掲載しています。モニタリング項目として確認していきます。
3	健康によい食事を楽しむ。野菜をたっぷり取る。旬の食材を楽しむ。発酵食品をとる。塩分を控える。お酒は総量を考える。歯を大切に作る。	参考	地域や対象となるライフステージの特定を総合的に捉え、効果的に取組を進めることが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
4	高齢期の運動は「転倒骨折予防運動」としてはどうか。	参考	運動器の障害のために自立度が低下し、介護が必要となる危険性が高い状態であるロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防が重要と考えています。
5	成人期の運動の行動目標は「あと1000歩多く歩く！」のほうがよい。	参考	分かりやすい目安として10分間の歩行に相当する「あと1,000歩、歩く」を行動目標としており、実際の取組の中では、今よりも「多く」歩くことを啓発していくことが重要と考えます。
6	目標を階層化する時代。どう達成するか、そのための条件は何かをきちんと書くべき。	参考	基本目標に加え、行動目標を設定し、第3章3「取組に対する考え方」及び4・5・6(3)「取組内容」に、行動目標達成に向けた、取組の方向性について記載しています。その方向性に基づき、具体的取組例に示した取組を行っていきます。
7	成人期・高齢期の運動の行動目標は男女同じでよい。(成人期の「定期的に運動する」は35%、稔りの世代の歩数は50%)	その他	男女で現状に差があるため、男女別の目標が必要と考えます。国と比較できることも考慮し、「定期的に運動する」については、男女共通の目標と男女別の目標、歩数については男女別の目標としました。
8	喫煙と飲酒は別の分野として分けたほうが後の進め方がわかりやすいのではないか。	その他	分野を分けずに同時に取り組んでいくことが効果的であると考え、喫煙・飲酒分野として取組を行います。
9	ロコモティブシンドロームなどのとつきにくい概念は使わず、「消費エネルギー」などのほうがよいのではないか。	その他	ロコモティブシンドロームは、介護が必要となる原因疾患の骨折・転倒、高齢による衰弱につながるものであり、対策のための普及啓発が重要と考えています。運動の推進は適切なカロリー(エネルギー)の消費につながると考えており、取組の際の参考とさせていただきます。
10	特定健診は特定の疾病のある人の健診のようなイメージなので「事前健診」「予防健診」のほうがよいのではないか。	その他	特定健診は、国の医療費適正化計画における「特定健診保健指導」制度を示したもので、第2期計画でも同様に使用します。
11	12歳児と小学5年生の差がわからない。	その他	出典の調査方法の違いによるものです。『12歳児の一人平均虫歯数』の出典である学校保健統計では年齢ごと、『運動やスポーツを週3日以上行う小学5年生』の割合の出典である横浜市小中学校児童生徒体力運動能力調査は学年ごとに集計をしています。
12	COPDとロコモティブシンドロームは他の項目に相関して低下するはずなので目標にあげる必要はない。	その他	COPDとロコモティブシンドロームはその名称や意味の普及啓発も重要であるため、行動目標の指標としました。
13	運動項目の目標に男女差をつけているが有意差とは思えない。	その他	運動については男女で現状に差があるため、基本的には男女別の目標が必要と考えます。
14	小中学生の朝食「100%に近づける」でなく100%とすべき。	その他	「学校における食育推進計画」との整合性をとり、「100%に近づける」としました。
15	目標値が多すぎる。項目ごとに相関があるのでもっと絞れるはず。	その他	市民一人ひとりがそのライフステージに合わせた健康づくりに取り組めるように、分野ごとに最も重要と思われる項目に絞り、行動目標を設定しています。
16	野菜摂取とバランスは同じことではないか。	その他	食生活では、摂取量と生活習慣病の関連について科学的根拠が確立している「野菜摂取量」を行動目標として設定しました。さらに、食事全体のバランスをとることが適正な栄養摂取につながることから、食事バランスについても行動目標として設定しています。
17	80歳以上の高齢者が自宅療養でできることは何か、指標がほしい。	その他	自宅療養しながらの生活習慣の改善は、疾患状況によって個性が高いため、医療の中での生活指導の範囲と考えています。医療の充実については、「よこはま保健医療プラン」で取り組んでいます。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「よこはま保健医療プラン」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。

No.	ご意見	対応	考え方・回答
18	誰にでもはっきりわかる行動目標にしてはどうか。例えば「ご飯は70歳を過ぎたら腹60～70%1日2食で十分」。	その他	市民一人ひとりがそのライフステージに合わせた健康づくりに取り組めるように、分野ごとに最もわかりやすく重要な項目に絞り、行動目標として設定しています。例のような、具体的な行動内容については、個人差があるため行動目標としては示していません。
19	誰の行動目標なのか？結果的に「市民が行動してしまう」環境整備が行政の目標ではないか。「市民にさせる」は行政の責任放棄になる。	その他	市民一人ひとりがそのライフステージに合わせた健康づくりに取り組めるように分野ごとに最もわかりやすく重要な項目に絞り、行動目標として設定しています。

(イ)取組はよいが、どう市民に伝えていくかが問題である。市民への広報を機会あるごとに積極的にする必要があり等、広報や知識の普及に関する意見(9件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
20	市民に知らせる手段が問題。	参考	第2期健康横浜21の計画内容の普及啓発も含め、健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えます。ご意見を参考とさせていただきます。
21	年齢別の取組はよいと思うが、どう市民に伝えていくかが問題。	参考	第2期健康横浜21の計画内容の普及啓発も含め、健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えます。ご意見を参考とさせていただきます。
22	市民意識の向上が課題。	参考	自分の健康状態を知る機会づくりや健康に関する情報を得やすい環境づくりに加え、健康づくりに関心が低く、時間的ゆとりのない層への働きかけが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
23	市民への広報を機会あるごとに積極的にしたら良い。	参考	第2期健康横浜21の計画内容の普及啓発も含め、健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えます。
24	情報伝達の方法が定まらないのが気になる。HPは一部の人のみという気がする。この計画自体がどの程度伝わっているのか疑問。	参考	第2期健康横浜21の計画内容の普及啓発も含め、健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えます。
25	高齢になってもなるべく外に目を向け、一人ひとりが健康について知識を持つことが必要。	参考	自分の健康状態を知る機会づくりや、健康に関する情報を得やすい環境づくり等が重要と考えています。
26	成人期は「無関心期」に該当する人が大半で、参加する人は非常に少ない実態。成人期を対象とする情報提供やイベント・講座の開催は内容・方法・場所等に従来と異なる工夫が必要。	参考	健康づくりに関心が低く、時間的ゆとりのない層への働きかけが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
27	どのように取り組んでもほとんどの人は関心がないままだと思う。いかに知識を普及し健康を意識させるかに特に取り組んでほしい。	参考	健康づくりに関心が低く、時間的ゆとりのない層への働きかけが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
28	掲示、広報だけでなく、一人ひとりに声の届く内容(はがきなど)で呼びかける必要があると思う。	参考	ご意見をいただいたように、健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えております。個別の情報提供としては、例えば、横浜市国民健康保険特定健診受診券及び啓発資料の発送や、一部のがん検診の通知などを行っております。ご意見を参考とさせていただきます。今後も健康に関する情報を得やすい環境づくりを進めます。

(ウ)精神的な安定や人とのつながりなども重要で、生活習慣改善の分野にこころの健康も位置づける必要がある等、こころの健康に関する意見(6件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
29	なぜこの5分野なのか。こころの健康も位置づける必要があるのではないか。	修正	第2期計画は、生活習慣病に着目した計画ですが、こころの健康も重要というご意見の趣旨を踏まえ、睡眠などの「休養」はこころの健康にもつながると考え、分野名を「休養」から「休養・こころ」に修正しました。
30	精神的にも安定していることも必要。	修正	第2期計画は、生活習慣病に着目した計画ですが、こころの健康も重要というご意見の趣旨を踏まえ、睡眠などの「休養」はこころの健康にもつながると考え、分野名を「休養」から「休養・こころ」に修正しました。
31	健康で長寿は誰でも願う。精神的負担を減らすことも大事で孤独にならないよう配慮したい。	修正	第2期計画は、生活習慣病に着目した計画ですが、こころの健康も重要というご意見の趣旨を踏まえ、睡眠などの「休養」はこころの健康にもつながると考え、分野名を「休養」から「休養・こころ」に修正しました。また、健康づくりを通じて地域とつながる機会を持つことは、身体とこころの健康の増進にも影響を及ぼすといわれおり、重要と考えています。
32	育ち・学び世代は、こころの健康が必要でいじめ問題の早期発見・サポートする方法を考え、見守りサポートに力を入れてほしい。	その他	児童生徒のいじめ問題については、教育委員会で、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け取り組んでいます。

No.	ご意見	対応	考え方・回答
33	働き・子育て世代の心の不調を改善するカウンセリングや心療内科を気軽に利用できる雰囲気作り。	その他	第2期計画は生活習慣病に着目した計画であり、本計画での取組は困難ですが、保健医療に関する総合的な計画である「よこはま保健医療プラン2013」の中で、メンタルヘルス対策に取り組むこととしています。
34	精神的な相談を受けられるカウンセラーの常駐とボランティア組織	その他	第2期計画は生活習慣病に着目した計画であり、本計画での取組は困難ですが、保健医療に関する総合的な計画である「よこはま保健医療プラン2013」の中で、メンタルヘルス対策に取り組むこととしています。

(エ)10年間の計画なので、時代にあった活動を進めてほしい等、その他の意見(54件)

No.	ご意見	対応	考え方・回答
35 ~ 39	ライフステージ別の取組はよいと思う、等の賛同意見(5件) ・ライフステージ別取組はよいと思う。 ・ライフステージ別の行動目標を打ち出すことは、目標が身近で有意義。 ・ライフステージ別の取組は目標設定や計画が広く浅くなりがちなポピュレーションアプローチでは非常に有効な方法だ。 等	賛同	ライフステージに応じて、工夫した取組を行います。
40	内容に賛同。	賛同	目標の達成に向け、計画を推進していきます。
41	ヘルスマイトの活躍を期待。	賛同	今後もヘルスマイト(食生活等改善推進員)のみなさまにご協力いただき、取組をすすめていきます。
42	保健活動推進員としてウォーキング、高齢者や子育て支援で役に立ちたい。	賛同	今後も保健活動推進員のみなさまにご協力いただき、取組を進めていきます。
43	ヘルスマイトとしてこれからも努力していきたい。	賛同	今後もヘルスマイト(食生活等改善推進員)のみなさまにご協力いただき、取組をすすめていきます。
44	地域の健康づくり活動を保健活動推進員を中心に実施しています。	賛同	今後も保健活動推進員のみなさまにご協力いただき、取組を進めていきます。
45	推進会議について「具体的な取組につながることをめざします」は他人任せな印象。「各関係機関の情報共有を可能にし、具体的な取組につなげることを目指します」のほうがよい。	修正	ご意見をいただき、「具体的な取組につなげることを目指します」と修正しました。(第4章1(1))
46	「場作り」はわかりにくいので「仲間づくりや活動の場作り」のほうがよい。	修正	第1章6(2)に「健康づくり活動を楽しみながら続けることを目指して、仲間づくりや活動の場づくりなどの環境づくりを進めます」と表現しました。
47	成人期の方がもう少し時間を考えて自分の事は自分で守ってほしい。	参考	健康づくりに関心が低く、時間的ゆとりのない層への働きかけが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
48	成果がみえる仕組みづくりをもっと具体的に書いてほしい。	参考	第3章3「取組に対する考え方」及び4・5・6(3)「取組内容」に、実際の取組の方向性について記載しています。その方向性に基づき、具体的取組例に示した取組を行っていきます。
49	ヘルスマイトが「どこで」「いつ」活動しているか知る手段がない。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりや地域の健康づくりグループの活動支援は重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
50	自治会の「歩こう会」などさまざまなグループ作りをやっている。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりや地域の健康づくりグループの活動支援は重要と考えています。
51	区民まつりでヘルスマイトのテントに行ったが、普段どこで何をやっているか知る手段がない。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりや地域の健康づくりグループの活動支援は重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
52	事業計画を進めていくには、健康福祉局、保健事業課、保健活動推進員の活動が不可欠。	参考	今後も保健活動推進員のみなさまにご協力いただき、連携した取組も進めていきます。

No.	ご意見	対応	考え方・回答
53	地域をまとめないと何も進まない。	参考	地域のつながりの強化等のソーシャルキャピタルの醸成なども含め、地域全体で取り組む環境づくりが重要と考えています。
54	34年度までには時代の変化があると思うので、時代にあった活動を進める必要がある。	参考	健康づくりの広がりのために、既存の取組にとられない新たな手法を用いた事業を実施するなどの工夫が重要と考えます。
55	実行したら結果を報告してほしい。	参考	健康横浜21推進会議での情報共有、検討結果について、これまでどおり、ホームページ上でご報告していきます。
56	長時間辛抱強く実行しないと結果は出せない。目標をコロコロかえても結果は出せない。	参考	第3章3「取組に対する考え方」及び4・5・6(3)「取組内容」に、実際の取組の方向性について記載しています。その方向性に基づき、具体的取組例に示した取組を行っていきます。
57	目標に掲げたことを地道に取り組むことが重要。	参考	第3章3「取組に対する考え方」及び4・5・6(3)「取組内容」に、実際の取組の方向性について記載しています。その方向性に基づき、具体的取組例に示した取組を行っていきます。
58	今の親は過保護で見てみぬふり。	参考	養育者や保護者を通じた子どもの健康づくり支援が重要と考えます。ご意見を参考とさせていただきます。
59	町内会でハマちゃん体操やってみたい。	参考	健康づくりに参加できる機会の充実が重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
60	介護されないように自分自身と戦うしかない。何事も自業自得。反省がなければ行動に結びつかない。	参考	稔りの世代では、身体機能、栄養状態、疾病などの自分の健康状態について正しい知識を持ち、自分の状態にあった健康づくりを無理なく行うことが重要と考えます。
61	「個人の自己責任」という旧来の健康づくりの発想で、ソーシャルキャピタルを醸成する必要性に言及がないのはなぜか。	参考	ソーシャルキャピタルの豊かさが健康状態に影響を及ぼすという報告もあり、ソーシャルキャピタルの醸成が重要と考えています。
62	「健康づくり」というあいまいな表現が多いが、生活習慣病は心血管イベントの予防という「リスク管理」であり、心筋梗塞や脳卒中を減らすことが目的ということをもっと強調してもよい。	参考	生活習慣が循環器疾患に与える影響は大きいと考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
63	長寿健康のための三本柱は生活習慣の改善、健診受診、コミュニケーションの向上(高齢になるほど人とのつながりが大切)。	参考	生活習慣の改善と健診受診は取組テーマに掲げ、重点的に取り組んでいきます。また、人とのつながり等ソーシャルキャピタルの豊かさが健康状態に影響を及ぼすという報告もあり、特に稔りの世代については、ソーシャルキャピタルの醸成が重要と考えています。
64	人も地球も社会もまるごと爽健で多事多善の日々を。心身ともに健康を。円滑運営が可能な健康組織を。健康的な住みよい環境を。	参考	第4章1「計画の推進体制」で関係機関及び関係部署と連携した推進体制について記載し、効果的な取組につなげていきます。
65	どうやって達成するのか書かれていない理念は意味がない。関係機関との連携といったあいまいな表現でまた10年やり過ごすのか。	参考	第3章3「取組に対する考え方」及び4・5・6(3)「取組内容」に、実際の取組の方向性について記載しています。その方向性に基づき、具体的取組例に示した取組を行っていきます。また、第4章1「計画の推進体制」で関係機関及び関係部署と連携した推進体制について、第4章3に計画の推進における関係機関・団体等の役割について記載し、効果的な取組につなげていきます。
66	目指す姿が不明確なので方策が場当たりのになっている感がある。	参考	基本理念を「すべての市民を対象に、乳幼児期から高齢期まで継続して生活習慣の改善や、生活習慣病の重症化予防を行うことで、いくつになってもできるだけ自立した生活を送ることのできる市民を増やします」として、健康寿命を延ばすため、生活習慣の改善と生活習慣病の重症化予防に取り組んでいきます。
67	生活に余裕のない人、単身高齢者等がおきざりにされないよう実現可能な取組を。	参考	区の特長(人口構造や世帯構造、疾病状況、社会資源)に応じた取組を進めるとしており、地域の特性に合わせた事業の工夫を行うことが重要と考えています。
68	高血圧・脂質異常・高血糖は遺伝的体質的素因が少なからず関係することも生活習慣の改善と平行して周知し、適切な診療の必要性も啓発すべき。	参考	健康に関する情報を得やすい環境づくりが重要と考えています。ご意見を参考とさせていただきます。
69	個人の生活環境ばかりを強調すると病気になったのは個人のせいということになってしまう。生活習慣だけが病気の原因ではない。公共の場の禁煙など個人にたよらなくても自然に良い生活習慣になるようなことを考えるべき。	参考	「行動を取るための動機づけとなる意識や知識」という個人の状況に加え、「行動のきっかけとなる健康資源を利用しやすい状況」「行動を継続しやすい状況」を整えることが重要と考えます。

No.	ご意見	対応	考え方・回答
70	低所得と高所得の間の「健康格差の縮小」の視点が欠けている。	参考	区特性(人口構造や世帯構造、疾病状況、社会資源)に応じた取組を進めるとしており、地域の特性に合わせた事業の工夫を行うことが重要と考えています。
71	評価について、だれをどう評価したいのかわからない。	参考	評価は、行政が関連機関と連携して推進する計画を評価するために行います。第5章3「目標値一覧」及び4「モニタリング項目一覧」に評価項目について説明しています。
72	「いくつになってもできる限り自立した生活を送ることのできる市民」という人はいないのではないかと。	参考	自立した生活を送る期間を、できる限り延ばすことであると考えます。
73	市民がやるのが不明確。行政だけでは目標は達成できない。	その他	健康づくりの主人公は市民一人ひとりであり、行政の役割はそのための環境整備と考えています。市民一人ひとりがそのライフステージに合わせた健康づくりに取り組めるように分野ごとに最もわかりやすく重要な項目に絞り、行動目標として設定しています。
74	基本理念を「生活習慣病の発症予防、重症化予防」と修正すべき。	その他	第2期計画では生活習慣病のあるなしに関わらず、両者が取り組むことのできる生活習慣の改善としました。
75	基本理念に「生活習慣病に関する医療情報の提供」を加える。	その他	医療の充実については、「よこはま保健医療プラン」で取り組んでいます。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「よこはま保健医療プラン」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。
76	「きっかけづくり」と「継続支援」を分ける意味がわからない。内容を見ても優位さが見えない。	その他	健康行動を継続するためには「健康行動をはじめ」「それを継続」することが必要です。「きっかけづくり」では健康づくりを始めるきっかけとなることを目指して、知識の普及や体験型イベント、講座などの啓発活動を行い、「継続支援」では、健康づくり活動を楽しみながら続けることを目指して、仲間づくりや場づくりなどの環境づくりを進めます。
77	自立が大切。高齢になると住環境によって違ってくる。	その他	住環境整備については、第2期計画の取組の範囲には含まないため、具体的な取組は困難です。
78	「稔りの世代」は下手なお世辞のようでしっくりこない。「自己再発見の世代」「自己実現の世代」はどうか。	その他	それぞれのライフステージの特徴を表すものとして検討し、設定しています。
79	「稔りの世代」など高齢者におもねる必要はない。	その他	それぞれのライフステージの特徴を表すものとして検討し、設定しています。
80	「稔りの世代」は言葉遊び。高齢者でよいのではないかと。	その他	それぞれのライフステージの特徴を表すものとして検討し、設定しています。
81	「子どもの生活習慣にいい影響を与える家庭環境や教育環境が整っている」のほうがいい。	その他	家庭環境や教育環境は、いい影響、悪い影響も含め大きな影響があると考え、その環境を改善することを「環境を整える」と考えています。
82	取組内容は、これまでやってきたことをまたやるだけに見える。	その他	第2期計画の特色として、「ライフステージに合わせた取組」「きっかけづくりと継続支援を目指した取組」「区特性を踏まえたさまざまな関連機関とともに進める取組」を掲げ、事業内容に工夫をします。
83	ライフステージはJapanese English? 使用しないこと。	その他	日本語として理解が容易な表現と解釈しております。
84	保健活動推進員制度の見直しまたは廃止が必要。選出のマンネリ、なり手がいないなど。	その他	保健活動推進員は、地域の健康づくりの推進役であり、今後も連携した取組を進めていきます。保健活動推進員の活動が充実するよう、支援をしていきます。
85	子育ての悩みを誰にも話せずにいる方などの気持ちを、少しでも楽にできればいい。	その他	子育ての悩みについては、区福祉保健センターや地域子育て支援拠点で相談をお受けしています。なお、子育て支援については、子ども・青少年とその家庭を対象にした施策の展開を図る「かがやけ横浜子ども青少年プラン」により取組を進めています。
86	国家的に自宅療養が増えることになる。都市部の救急システムの構築と周知が重要。	その他	医療の充実については、「よこはま保健医療プラン」で取り組んでいます。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「よこはま保健医療プラン」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。
87	不治の病にかかったら緩和ケア。	その他	医療の充実については、「よこはま保健医療プラン」で取り組んでいます。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「よこはま保健医療プラン」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。
88	増え続ける医療費の削減を強く訴えたらどうか。	その他	医療費の適正化については、「横浜市国民健康保険特定健診等実施計画」で取り組んでいます。第2期計画では第1章7(3)「横浜市の他の計画等との関係」に「横浜市国民健康保険特定健診等実施計画」との関係について記載し、整合性をとりながら、取組を進めます。